

第 49 回東京春季創画展出品によせて

「仰ぐ」

重政 周平

建造物の鉄骨やパイプを線として見た時、線の集合によってできる形態。そして、その内部にできる小さな間隙。

この二つはどちらも互いに主張・対比させることで相克の関係となり力強い存在となります。

「線と間隙の相克」その表現を作品から感じていただければ幸いです。